

〔野菜・作物の優良品種の選定と育成〕

摘み取り用イチゴ品種の育成

沼尻勝人・澁澤英城・田邊範子

(園芸部)

【要 約】99-8 および 02-1-1, 02-1-2, 02-1-5, 02-1-8, 02-1-9 の 6 系統は、対照品種である‘宝交早生, ダナー’と比較して、収量および果実形質、食味において同等かそれ以上であり有望である。

【目 的】

旬の味を楽しめる都内の露地イチゴ栽培では、株売りや摘み取りなどを行なっている生産者は多く、消費者の評価は高い。しかし、露地の主要品種は‘宝交早生’や‘ダナー’といった古い品種であり、栽培しやすく果実形質の優れた品種の開発が望まれている。そこで、都内の露地栽培に適し、‘宝交早生’に替わる大果で食味よい品種を育成する。

【方 法】

1999 年および 2000 年、2002 年に交配を行い、得られた実生個体を選抜してきた結果、それぞれ 11 系統および 4 系統、16 系統を得た。それら選抜系統を 2003 年 10 月に床幅 80cm、株間 30cm の 2 条植えで 1 系統 25 株を定植し、慣行栽培した。調査は、2004 年 4 月から、収量および果実形質、食味、生育特性について行った。

【成果の概要】

- 1) 表 1 に、露地栽培の主要品種である‘宝交早生’および‘ダナー’と萎黄病抵抗性品種として導入した‘芳玉’および‘福羽’の特性を示した。
- 2) 2004 年に全 31 系統について調査を行い、6 組み合わせ 12 系統を選抜した。このとき‘福羽’交配系統は、食味および果実形質などが‘芳玉’交配系統よりも劣ることが明らかになったため、選抜から外した。選抜系統間を対照品種である‘宝交早生, ダナー’と比較すると、収量性や果実形質などに、果数や 1 果重、下物内訳が異なる特徴がみられた。上物率は、いずれの系統においても 80% 以上であり、特に 00-2 は 92% と最も高かった。糖度は、99-7 および 00-2, 02-1-1 は比較的高かったが、他系統間に差はなかった (表 2)。
- 3) 表 3 に果実および生育特性を示す。食味の結果、甘みは 99-3 および 02-1-5, 02-1-8 以外の系統で、宝交早生と同等かそれ以上であった。酸味は、99-7 および 02-1-4 が強かった。硬さは、宝交早生より 7 系統が高かった。果肉色については、99-10 および 00-2, 02-1-1 は白っぽいのが、他の系統は、宝交早生よりやや薄い桃色系であった。生育調査の結果、00-2 の果梗は特に短いため作業性は劣った。また、株元に果実が集まるので、通気性が悪くなりやすいと考えられる。
- 4) 収量および果実形質、食味などを総合して評価した結果、02-1-2, 02-1-5, 02-1-9 などの 6 系統が有望と考えられた。今後、有望系統について、萎黄病抵抗性について評価する。

表1 対照品種および萎黄病抵抗性品種の特性

項目	宝交早生	ダナー	芳玉	福羽
日持ち	短	長	中	中
輸送性	低	中	中	低
うどんこ病抵抗性	高	中	低	低
灰色かび病抵抗性	低	中	高	中
萎黄病抵抗性	低	低	高	高
炭そ病抵抗性	高	中	低	中
芽線虫抵抗性	低	中	高	中

注) 特性審査基準(農林水産省)より作成

表2 イチゴ選抜系統の交配組み合わせおよび収量

系統番号	組み合わせ	交配年	上物 ^a		上物率 (%)	下物内訳 (%)				糖度 (brix)	
			果数 (個/株)	重量 (g/株)		1果重 (g)	小果	乱形	カビ		その他
99-2	盛岡16号 × ダナー		14.2	184	12.9	81	0	68	3	29	9.0
99-3	東北8号 × 女峰		23.8	230	9.7	80	17	52	6	26	8.9
99-7	宝交早生 × 東北8号	1999年	29.1	242	8.3	84	24	46	4	26	9.5
99-8	女峰 × 宝交早生		20.8	249	12.0	86	0	43	33	23	9.0
99-10			15.1	190	12.6	87	10	43	38	10	9.1
00-2	宝交早生 × 芳玉	2000年	18.2	207	11.4	92	43	7	14	36	10.0
02-1-1			32.8	295	9.0	85	19	23	21	37	9.5
02-1-2			16.7	254	15.2	80	0	26	71	2	8.0
02-1-4	99-8 × 芳玉	2002年	26.0	237	9.1	85	26	36	24	14	8.9
02-1-5			31.8	313	9.9	80	25	15	23	37	8.1
02-1-8			17.9	235	13.2	84	0	16	35	48	8.1
02-1-9			20.7	241	11.7	87	29	4	21	46	9.0
宝交早生			36.0	374	10.4	84	5	43	33	18	8.0
ダナー			18.2	184	10.1	90	6	72	11	11	8.5

注) 定植: 2003年10月16日

a) 上物とは虫害がなく品質良好なもので小果を除いたもの

表3 イチゴ選抜系統の果実および生育特性

選抜系統	果実						生育				評価 ^b
	甘味 酸味 香り			硬さ	果肉色	果形 ^a	草勢	葉の大きさ		果梗長	
	(強5~1弱)							(硬5~1軟) (赤5~1白)			
99-2	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	球	やや強	3.0	2.0	3.0	
99-3	2.0	3.5	3.0	4.0	1.5	球円錐	強	4.0	3.0	4.0	
99-7	3.0	4.0	2.5	3.0	2.0	長円錐	やや弱	4.0	2.5	3.0	
99-8	3.5	3.5	3.5	3.5	2.0	長円錐	やや強	4.0	3.0	3.0	○
99-10	4.0	3.0	3.5	3.5	1.5	円錐	中	3.0	3.0	2.0	
00-2	4.0	3.0	4.0	3.0	1.5	球円錐	やや弱	3.0	2.5	1.5	
02-1-1	3.5	3.5	3.0	4.0	1.0	円錐	強	5.0	4.0	4.0	○
02-1-2	3.0	3.5	3.5	4.0	2.0	円錐	強	5.0	4.0	3.0	◎
02-1-4	3.0	4.5	4.0	4.0	2.0	長円錐	強	5.0	2.0	3.0	
02-1-5	2.0	3.5	3.0	4.0	2.5	球	やや強	2.0	3.0	3.0	◎
02-1-8	2.0	3.0	2.5	3.0	2.5	円錐	やや強	4.0	2.0	4.0	○
02-1-9	3.0	3.5	3.0	3.0	2.0	球円錐	強	3.0	3.0	4.0	◎
宝交早生	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	円錐	やや強	3.0	3.0	3.0	
ダナー	2.0	4.5	3.5	3.5	2.5	球円錐	やや強	3.0	2.5	2.5	

注) 宝交早生を対照品種(3.0)として評価

a) 偏球 ○ 球 ○ 球円錐 ○ 円錐 ○ 長円錐 ○ 円筒 ○ 楔形 ○

b) 収量および果実特性などを総合し有望と思われる系統